

職員の緊張や不安をバイタル情報等から把握・通知できるツールを導入して、職員の支援力・対応力の向上を図りたい！

課題



- 利用者等対応時の振り返りにより、経験の浅い職員などの支援力を向上するとともに職員の心理的負担を軽減したい
- 利用者急変時等の緊急対応時などに、職員の異常を察知・自動通知機能により緊急時対応力を向上したい

背景

【経験の浅い職員などの支援力の向上、職員の心理的負担の軽減】

- 職員が1人で利用者支援やご家族対応を行う場面は多いが、経験の浅い職員などの場合、強い緊張感や焦りを感じながら、支援に当たることもある。脈や血圧の数値等バイタル情報などから、自分がどういった場面で強い緊張感や焦りを感じるのかを把握・理解し、振り返りなどを行うことにより対応する術を持つておくことは、対人援助職としては大事なことである。
- また職員の心理面での負担軽減にもつながる。

【緊急時対応力の向上】

- 利用者急変等の緊急対応時などに、職員の応援を求めたいが、職員自らがすぐに応援連絡をすることが困難な状況もある。その際、対応職員のバイタル情報等が一定値を超えたことにより、自動的に他職員へ通知され、通知を受けた職員が応援に駆け付けることができる体制を作っておくことで、緊急時の対応力を高めておくことが可能である。

現場情報

※ 現場への直接のご連絡は行わないでください。

福祉局 障害者支援施設
(社会福祉法人東京都社会福祉事業団
希望の郷 東村山)

18歳以上の重度知的障害者を対象として、強度行動障害の軽減、地域生活移行・地域社会との共生、生活環境・日中活動の充実を目的に支援